

# 楓園

ISSUE  
2019 1/31

87

FÛEN [フウエン]

Toyo Eiwa Jogakuin  
Public Relations Report

Hanako Muraoka



King's Daughters' Society

[巻頭特集] 2018年を振り返る

## 東洋英和の ニュースな数字

Kaedenokai



Reverence & Service



東洋英和女学院  
東洋英和楓の会

# 増渕 稔 理事長就任

2018年5月25日開催の理事会において  
新理事長が選任され、5月27日に就任しました。  
増渕稔理事長のプロフィールとともに、  
6月29日に行った就任式での就任の辞をご紹介します。



2018年6月29日 理事長就任式

理事長就任式  
2018年6月29日  
小学部講堂

## 就任の辞

この度、大宮薄前理事長の後を  
受け、東洋英和女学院の第14代  
理事長に選任されました増渕稔です。

私が初めて東洋英和女学院と  
縁を持つようになりましたのは、  
2005年11月のことでした。この  
時、職場の先輩であった元日銀総裁  
の速水優さんと当時学院の理事長で  
あった池田守男さん、このお二人か  
ら「東洋英和女学院の理事を務め  
るように」というお話をいただき、  
以来理事・評議員として、さらに  
2011年4月からは常務理事とし  
ての任務も担って、現在に至って

ます。

このように、私を東洋英和女  
学院に連なる者としてくださったの  
は、速水優さんと池田守男さんとい  
う二人の大先輩なのですが、私自身  
は、お二人のようにごく若い時から  
キリスト教の信徒としての歩みを続  
けてきた訳ではございません。私が、  
さまざまに揺れ動く思いの下で、初  
めて教会の門を潜り、聖書を手にい  
たしましたのは、50歳という節目の  
年を迎えた直後の1995年のイー  
スターの頃のことでした。それ以来、  
時間の許す限りは主の日の礼拝に通  
う生活が続いています。振り返って  
みますと、あの日教会の門を潜った  
時から、今東洋英和女学院の理事長  
の任務を担うこととなるころまで、  
いわば一本の道で繋がっているよう  
にも感じられ、不思議な力の働きを  
覚えずにはいられません。

東洋英和女学院は、建学以来  
134年の年月を経ておりますが、  
その間「敬神奉仕」の言葉で象徴さ  
れる「キリスト教の教えに基づく教  
育」という建学の精神を堅持し、こ  
れを实践することで今日まで発展し  
てまいりました。歴代の学院指導者  
を始め多くの先人たちのたゆまぬ努  
力の賜物であり、心から敬意を表し  
たいと思います。

しかしながら、現在東洋英和女  
学院を取り巻く状況は極めて厳しいも



初代校長ミス・カートメルの手を置いて、増渕新理  
事長が宣誓を行いました。(左：増渕稔理事長、中央：池  
田明史大学学長、右：高橋貞二郎学院宗教部長)



2018年を  
振り返る

東洋英和の

ニューな数字

2018年は、東洋英和にとって大きな節目の年でした。  
刻まれてきた学院の歴史を、数字を通して見てみましょう。

Reverence & Service

敬神奉仕制定から

90年

## 一生の道しるべとなる 英和生の精神的支柱

創立以来、学院に流れる「神を愛し人を愛する」というキリスト教精神をミス・ハミルトンが校長時代の1928年標語に制定。「敬神奉仕」の精神は、英和生の豊かな人格を育む上での大きな柱となっている。保護者や英和に関わる多くの方々的心にも宿る「敬神奉仕」。その精神を実践する「マルタとマリアの会」の活動を紹介する。



### マルタとマリアの会

1982年に発足した中高部の母の会「ボランティア会」を母体に、1984年4月、田口多佳子さん、工啓子さん、牧野安子さんら約10名が集まって誕生した母の会OGによる奉仕グループ。会の命名者は、奉仕先である「社会福祉法人愛の泉・愛泉乳児園」の前園長・森田愛香先生。現在、メンバーは36名。

上)「敬神奉仕」の標語がかけられた旧マーガレット・クレイグ記念講堂での礼拝(1940年頃)  
下)職員室前にかけられた「敬神奉仕」の額の前を歩くミス・ハミルトン(1956年)

## 敬神奉仕を実践する母たちの奉仕グループ

### 中

高部母の会のOGを中心に、ボランティア活動を通して「敬神奉仕」の精神を受け継いでいるのが奉仕グループ「マルタとマリアの会」。子どもが学院を卒業した後も奉仕活動を続けたいという思いから、1984年に自然発生的に

あとに乳児園の園児の前掛けや、祭の母の会バザーのための手作りの品を制作している。

会が誕生。学院の教師や関係者のサポートを得ながら、「できるときに、できることを、愛と祈りと感謝をこめて奉仕する」をモットーに、34年間、絶え間なく活動を続けてきた。奉仕先は、英和の保育者養成に貢献したキョククリヒ先生が創設した「社会福祉法人愛の泉・愛泉乳児園」。主な活動として月に1度のペースでお仕事を開き、讃美歌とお祈りの

メンバーには学院の卒業生もいれば、そうでない人もおり、年齢もバックグラウンドもさまざま。だが、それぞれの立場で敬神奉仕の精神を受け入れ、主体的に活動に参加している。家庭の事情などで休会する人もいるが、決して強制はせず、復帰したら皆であたたかく迎えるという。「先輩方が守ってきた会の歴史を、これからも皆で助け合いながらつないでいきたいです」と、今年度お当番の笠井章代さん。この先もメンバーは手を取り合い、敬神奉仕を体現していく。



初代代表の田口多佳子さんを囲んで。写真左より、工啓子さん、塚本明子さん、田口多佳子さん、笠井章代さん、牧野安子さん。



King's Daughters' Society

王女会 設立から

130  
年

## 東洋英和で 受け継がれる奉仕の精神

中高部 YWCA の前身には、学院草創期にあった王女会という奉仕活動団体がある。「王女」とは「キリストの娘」という意味で、キリストにならって愛の実践を行う有志の集まり。現在の中高部 YWCA も有志が活動している。日本 YWCA で重要なポストを務められた 3 人の卒業生に英和で受け継がれる奉仕の精神について伺った。

### 王女会に始まる 130 年の歴史が私たちの誇りです

—皆さんと YWCA との出会い、参加のきっかけを教えてください。

**石井** 野尻での東京 YWCA の中学生長期キャンプも思い出深いですが、忘れられないのは、高 2 の夏の中高 YWCA 全国カンファレンスに出席したことです。YWCA は、世界各国に会員がいる国際的な女性団体であり、国際連合の諮問機関としても重要な役割を果たしていることを知り、心が躍りました。YWCA を通じて、私の行動が世界につながっているということは大発見でした。

**尾崎** 私は、YWCA の野尻キャンプに参加したのがきっかけです。でもなぜか、中高部 YWCA には入っていません。中高時代に戻れたら、今度は絶対に入りたいです(笑)。

**俣野** 私は、クラブ活動である音楽部と中高部 YWCA を掛け持ちしていました。中高 YWCA 地区カンファレンスには中学 2 年のときから毎年参加しましたが、そこで今所属する教会の牧師に出会ったことも、私の人生において大きなことでした。

**石井** 私たちは、YWCA への関わり方が三者三様なんですよ。私はほかの仕事を持ちながらずっとボランティアで関わっていますが、尾崎さんは新卒から職員として勤めていて、俣野さんは職員もボランティアも経験している。それぞれが、今の

自分にできる形で活動に参加しています。

—東洋英和の卒業生の多くが、YWCA で活躍されていますよね。

**俣野** 英和出身者や退職された先生が大勢いると知ったのは、だいぶ後になってからです。普段はお互い仕事に徹しているのに、英和という共通項で集まることはないんですよ。

**石井** ですから、今日はとっても貴重な機会なんですよ。

**尾崎** この場にはいなくても、YWCA でつながっている東洋英和の仲間がたくさんいるんですよ！

—なぜ英和生が多いのでしょうか。

**石井** やはり、英和の教育ではないでしょうか。敬神奉仕の精神ですね。

**俣野** そこにつながりますよね。私の場合、若い頃はあまりピンときませんでした。人生のさまざまな痛みを知るなかで、人に尽くしたり、苦しんでいる人に寄り添ったりということが自然にできるようになりました。それは、神のある教育を受けた英和生だからではないでしょうか。

**尾崎** 東洋英和での教育、YWCA が大切になっているものには共通点が多いです。例えばリーダーシップとは、前に出て皆を引っ張っていくリーダーシップも重要ですが、YWCA が何より大切にしているのは、たとえ目立たなくても、人の思いに耳を傾け、心にとめ、痛みを

り添いながら縮こまっていた人の心をあたため、その力を引き出すリーダーシップなのです。考え方など、共鳴し合う点が多いですね。

—皆さんの原点は東洋英和にあるんですね。

**尾崎** YWCA では安心安全で、ありのままの自分でいられるところを指す「セーフスペース」という言葉をよく使いますが、この言葉を聞いたとき真っ先に思い浮かべたのが、東洋英和の学校生活でした。今の私の原点は、東洋英和にあったのだなと思います。

**俣野** 王女会発足からの 130 年を振り返ると、戦争によって東洋英和も日本 YWCA も存続が危ぶまれたときがありますが、高い志を持った先輩方が復興させた歴史があります。そうした歴史の重みや、東洋英和や日本 YWCA という組織が持つ生命力は、くじけそうになったとき私の心の支えになっています。

**石井** まだ NGO という概念もない時代に、王女会という奉仕活動団体が東洋英和にあったことに驚くとともに、誇りに思います。今ならかの奉仕活動に参加されている方が大勢いらっしゃると思いますが、これからも弱い立場の人々に寄り添い、より良い社会をつくっていくために、ともに心を尽くしていきたいですよ！

## YWCA (Young Women's Christian Association)

地球的規模かつ女性の視点で、平和・非暴力・ジェンダー・貧困などのさまざまな問題に包括的に取り組む国際 NGO。世界 120 か国以上で展開。日本では 1905 年に設立され、現在 24 の地域の YWCA と、37 の中学・高等学校の YWCA が活動している。日本 YWCA は 2013 年 4 月より公益財団法人。

### 石井 摩耶子さん (右)

1958 年高等部卒業。中学・高等部と東洋英和に通う。獨協大学教授、恵泉女学園大学学長を歴任、同大学名誉教授。2006 年から 2009 年まで日本 YWCA 会長、2013 年 4 月より 17 年 6 月まで代表理事、現在は同監事を務める。東洋英和女学院理事、評議員。

### 尾崎 裕美子さん (中)

1976 年高等部卒業。小学部から高等部まで東洋英和に通う。大学卒業後、東京 YWCA に就職。2005 年 4 月から 2016 年 3 月まで東京 YWCA 総幹事、2017 年 1 月より日本 YWCA 総幹事を務める。

### 俣野 尚子さん (左)

1986 年高等部卒業。幼稚園から高等部まで東洋英和に通う。一般企業勤務、日本 YWCA 職員を経て、2009 年から 2016 年まで会長を務める。現在は、生きづらさを抱える女性の就労支援を行う。



楓の会 設立から

10年

## 東洋英和を軸に 枝葉のように広がる絆

学院創立 125 周年を控えた 2008 年、改めて東洋英和のモットーである敬神奉仕に立ち返り、全ての英和関係者の心のつながりをより強固にすることを理念に設立。卒業生のみならず、その家族や関係者にも東洋英和の伝統やキリスト教精神を広く伝えている。設立 10 年を迎え、楓の会創設に後援会会長の立場で尽力された横山氏に話を伺った。



### 「楓の会」10年の歩み

2008

#### 「楓の会」設立

東洋英和の在校生・同窓生とその家族、学院関係者が、未永く東洋英和女学院と深い絆でつながることを目的に設立。2008年6月1日に会の規約施行、2009年4月より活動開始。

2009

#### 「楓の会」設立式

2009年8月29日、100名を超える顧問、役員の方々にお集まりいただき、新マーガレット・クレイグ記念講堂にて、設立式が挙行された。

2011

#### 「KAEDE MAGAZINE」創刊

楓の会の会報誌として、主に卒業生の生き方や女性の社会貢献などを紹介することで、卒業生を励ますことを目的に創刊。2018年1月発行の15号まで続いた。

2018

#### 「KAEDE MAGAZINE」 「楓園」と統合

「KAEDE MAGAZINE」が、学院報「楓園」と統合。在校生、同窓生とその家族への定期配布や、Web上で公開することで学外にも広く情報を提供している。

### 横山 巖さん

楓の会顧問、監事。学院監事。2001～2003年度、後援会高等部役員。2005～2010年度、後援会会長。三人のお嬢さんは、皆英和に通われ、お二人が高等部卒業、お一人は高等部・大学卒業。

多彩なゲストの方々にご協力いただきました。



【講演会】

- 2010年 橋本五郎氏「真の教育とは何か」
- 2011年 鳥飼玖美子氏「国際共通語としての英語を考える」
- 2012年 羽生善治氏「決断力を磨く」
- 2013年 中村メイコ氏・神津カナナ氏対談「真面目に愉快に母娘の放談会！」
- ← 2014年 日野原重明氏「生きるということ」
- 2014年 渡辺和子氏「心の教育と親の役割」
- 2016年 中村哲氏「アフガンに命の水を」
- 2018年 阿川佐和子氏「いつも喜んでいなさい」



【公演】

- 2010年 仲道郁代チャリティーピアノコンサート
- 2011年 日本舞踊公演 西川扇藏氏(人間国宝)・中村梅彌氏 他
- 2012年 オペラ名曲コンサート MASAMI 氏他
- 2012年 歌舞伎観劇会 中村勘九郎襲名披露興行
- 2013年 パイプオルガンコンサート 河野和雄氏他
- 2015年 ジェラルド・ブーレ、東京ハルモニア室内オーケストラチャリティーコンサート
- 2016年 ザ・メイブルズ・コンサート
- ← 2017年 音楽のさんぽ道コンサート

東洋英和とずっとつながっていきける場、それが「楓の会」です

**私**

が後援会会長を務めた折に実感したのは、娘が卒業した後でも東洋英和をサポートしたい保護者が想像以上に多いことでした。娘の卒業と同時に東洋英和とのつながりが切れてしまうのは寂しい…そんな保護者の思いが会の設立の背景になりました。また設立当時、故・池田守男理事長・院長がおっしゃっていましたが、キリスト教精神に基づく東洋英和の女子教育や、各界で活躍する卒業生のことを広く知ってもらうための会にしたいという思いもありました。

日野原重明先生の講演会で、ご多忙な先生のスケジュールを調整し、依頼から2年後によく実現したときは感無量でした。今は見る側専門ですが、大勢の方々にご来場いただいていることを嬉しく思います。「楓の会」のポリシーや存在意義が浸透するまでには時間がかかりましたが、10年経ち、多くの方々の理解、賛同が得られるようになってきたのではないのでしょうか。2016年度からは、子どもの卒業と同時に保護者全員が「楓の会」会員となる体制が整い、今後ますます多くの方々と手をつなぎ、オール東洋英和で会が発展していくことを期待してやみません。

We are

Toyo Eiwa

イラスト：高等部2年 大塚 理名

東洋英和 楓の会

東洋英和を通してつながる同窓会や関係諸団体全ての人や団体に対して、オール東洋英和で学院のさらなる発展を呼びかける楓の会。学院の最新情報を共有するための「楓園」の定期送付や、会員相互の交流の場である講演会やコンサートなどを開催している。設立から2018年9月までの10年間で集まった賛助金はおよそ5,380万円にのぼる。



Hanako Muraoka

村岡花子没後

50年

## 花子の遺志をつなぐ

女性と子どもが尊重される平等な社会を目指して、子どもたちの豊かな情操を育む児童文学の翻訳・執筆活動や、女性の地位向上のための社会活動を精力的に行った村岡花子。給費生として東洋英和に学び、教師、同窓会の役員、学院理事・評議員として母校にも尽くした花子の没後から50年。孫である美枝氏と恵理氏にお話を伺った。

遺言には、4作品の著作権を東洋英和女学院中上部および短期大学奨学金に充てるために寄付すると記されている。

### 花子プロジェクト

村岡花子の名を冠したこのプロジェクトは、児童養護施設から高校へ通う女子生徒を対象に、東洋英和女学院人間科学部人間科学科の4年間の学費などが免除される推薦入試制度。このプロジェクトのもとで、毎年二人までの高校生が大学進学機会を得、夢実現に向けて歩んでいる。



村岡家を通じて学院に寄付された『ハックルベリイ・フィンの冒険』『丘の家のジェーン』『フランダースの犬』『クリスマス・キャロル』（新潮文庫）の著作権料は、詳細を把握できる1982年～2017年の36年間で6,200万円を超え、図書室の本の購入等に使用された。

## 村岡 美枝さん (右/姉)

村岡花子の孫で翻訳家。自身の娘が高等部・大学の卒業生。英文学を専攻し、訳書に『アンの想い出の日々』(新潮社)、『ヒルダさんと3びきのこざる』(徳間書店)など。

## 村岡 恵理さん (左/妹)

村岡花子氏の孫で作家。1986年高等部卒業。著書に、NHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案となった『アンゆりかご 村岡花子の生涯』(マガジンハウス)など多数。

## 世のため、人のために尽くした祖母でした

—村岡花子さんは、翻訳家・児童文学者であり、婦人参政権運動にも参加した社会活動家でもありましたよね。

**美枝** ただし、あくまでも文学者の立場で、文学の力で女性の地位を上げたいと考えていたと思います。祖母が文筆活動を晩年まで続けたのも、文学を通して社会の役に立ちたいという思いからではないでしょうか。

**恵理** 「世の中の役に立ちたい」という祖母のベースは、東洋英和で培われたと思います。宣教師である先生方が日本の女子教育に献身的に関わる姿を目の当たりにしたり、自身もさまざまな奉仕活動に携わったりしたことが、のちの社会活動につながっていったように思います。

—お二人は、「村岡花子記念講座」や「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」(本部・大学院棟1階)などを通じて、花子さんの足跡を後世に伝えていらっしゃいますよね。

**恵理** 「村岡花子記念講座」は、東

京都港区と東洋英和女学院大学の連携事業で、私も登壇していますが、

祖母に関するだけでなく、東洋英和の歴史や女性学、日本のキリスト教教育といった幅広いトピックについて一般の方に広く知っていただく場です。祖母のようにいきまさんが、私自身も、年齢を重ねるともに、「少しでも世の中の役に立ちたい」という思いが生まれてきました。

**美枝** 「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」には、私たちが保存してきた祖母の書斎の蔵書や原稿、身の回りの品々が展示されています。展示物を通して、祖母の人生や文学への思いを知っていただけたら嬉しいです。

—女性として、花子さんの生き方に影響を受けた部分がありますか。

**恵理** 祖母の遺言には「ありがたう」という感謝の言葉が繰り返し書かれていました。祖母は貧しい家に生まれ、苦勞も多かったと思いますが、祖母の遺言から、人の幸・不幸を決めるのは自分のものの考え方次第であることを教えられました。

**美枝** いろいろ苦勞しつつも前向きに生きた祖母の人生、価値観は、やはり逆境にめげず、いつも前を向いて生きている『赤毛のアン』のアンそのものだなと思います。



# From the Garden of Kaede



中高部楓祭は、今年度で第50回目を迎えました。  
一人ひとりが日頃の活動の成果をいきいきと発揮し、  
50回にふさわしく楓祭の2日間を盛り上げました。

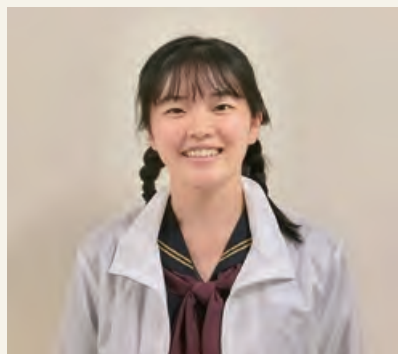


楓祭第1回目とその前に行われていた記念祭等のプログラム

## 楓祭年表 ～50回を記念して～

中学部長 石澤 友康

- 第1回 ● 1969年4月**  
1969年以前は〇〇周年記念祭として実施されていた。1967年に10年続いた4部門（校友会、生徒会、RAC、YWCA）が改編され現体制に近い生徒会組織となる。1968年には生徒会としての発表会「生徒活動発表会」が行われた。その年の生徒会は生徒の手により文化祭実施に向け議論を重ね、翌1969年4月に第1回楓祭を実施するが、当時社会情勢（安保闘争・学園紛争）の影響で生徒の社会的意識も高く、生徒会長不信任により会長不在のまま楓祭は強行されている。
- 第3回 ● 1971年5月**  
放送部「橋のない川」上演をめぐり英和社会問題研究会が放送部に抗議のビラ。さらに上映中に来場者が壇上にあがり放送部に「部落問題を文学作品として扱っている」と抗議。
- 第5回 ● 1973年5月**
- 第6回 ● 1974年2月**  
第5回と第6回と年度内に2回の楓祭。第5回までの前年度生徒会主催の春開催を当年度の秋開催へ移行させるための臨時措置。
- 第12回 ● 1979年11月**
- 中止 ● 1980年**  
楓祭中止。生徒会方針に一般生徒が反発し7月の臨時総会において評議会方針が否決。役員会はその場で総辞職。同時に評議会・楓祭実行委員会解散となる。中高中央委員とクラブ運営委員の生徒会臨時代行制をとるが「楓祭」は中止し、「クラブ発表会」が制限付で1日のみ開催された。
- 第16回 ● 1984年10月**  
創立100周年記念祭。スローガン「2世紀の扉を開こうー今こそ前進の時 みんなで力をあわせて100周年をー」。前年完成した新校舎（現東棟）を中心に開催。新体育館（現体育館）での開会式。
- 第18回 ● 1986年10月**  
第7回から続いた入場方法であるチケット制が第17回にトラブル発生。ペナルティで第18回は一般公開中止。第19回からリスト制入場方式（事前登録制）へ変更。この方式は第25回まで続く。その後は現在の限定公開制（生徒の氏名を告げるの入場）が採用。
- 第20回 ● 1988年10月**  
「楓祭のうた」制作。開会式と閉会式でバンド演奏に合わせて合唱。（現在は歌われていない）
- 第25回 ● 1993年10月**  
旧校舎（本館別館）解体。プレハブ仮校舎も使用した楓祭。
- 第28回 ● 1996年10月**  
新校舎（現西棟）完成。新マーガレット・クレイグ記念講堂での初めての楓祭。
- 第30回 ● 1998年10月**  
生徒会別改変で生徒会副会長が楓祭実行委員長を兼任して初めての楓祭。翌年からパンフレット表紙の一般公募も始まる。
- 第35回 ● 2003年11月**  
校内巡回に父親有志が登場。呼びかけに10数名のお父さん参加。（現在は両日合わせてのべ80名も）
- 第36回 ● 2004年10月**  
120周年記念祭。長らく続いた楓祭での賞の廃止。
- 第41回 ● 2009年10月**  
新型インフルエンザの感染防止のため一般公開中止。保護者公開のみ。
- 第45回 ● 2013年10月**  
台風の影響で土曜日の公開を順延し月曜日に変更。
- 第47回 ● 2015年10月**  
前年度のNHK朝ドラ「花子とアン」の影響で入場者数が7,000名を突破。
- 第50回 ● 2018年10月19日（金）20日（土）に開催**



2018年度楓祭実行委員長兼本部チーフ  
高等部2年  
三上 沙和子

### 楓祭を終えて

**ま** ず初めに、楓祭にお越しいただきました皆様にご挨拶申し上げます。

今年度の楓祭は記念すべき第50回であったため、私は実行委員長となる前から、特別イベントを行いたいと考えていました。生徒会長と相談をし、評議会として中庭にステージを設けることにいたしました。また、各方面の卒業生から楓祭を振り返ってのメッセージを頂き、映像にまとめて楓祭中に放映させていただきました。初めての挑戦であったため、何が良かを模索しましたが、無事に終わることができ嬉しく思います。私は楓祭実行委員長を務めるにあ

たり、他の人の意見を聞くことを絶えず心掛けました。私自身、心配性ということもありますが、楓祭を成功させるために先生方やチーフの皆さんに常に確認をとり、その度に修正をし、一つ一つ丁寧に取り組み、当日を迎えることができました。皆様にとって、今回の楓祭が思い出に残るものであれば、幸いです。最後に、今年度の楓祭を成功させることができましたのは、先生方、チーフ、生徒全員、ご協力くださった卒業生、保護者の方々をはじめ、携わってくださった皆様のお陰です。本当にありがとうございました。



（上）「化学部名物スライム上手にできたかな」（左）2日間大忙しでした！



学生が支える  
新しい学びの場

英和スピリッツ運用センター運営委員会

キャンパス活性化

WG L C部

ワーキンググループ ラーニングコモンズ

2

018年4月、5号館1階にラーニングコモンズ「TILE (ティル) SHE (シー)」という新しい学びの場が誕生しました。

TILE SHEとは、ICTのT、Intercultural Communication (異文化間コミュニケーション)のI、Life Design (ライフデザイン)のL、Social Sciences (社会科学)のS、Human Sciences (人間科学)のH、Early Childhood Education (幼児教育)のEから名付けられています。この6つのコモン(領域)のベースとなるのがTILE SHEです。

TILE SHEは、明るい木目調のフロアに可動式の丸テーブルが置かれた「ラーニングコート」、6人掛けのテーブルにモニターが設置された「グループエリア」、語学教育・国際交流に特化した「グローバルコモンズ」の3つのエリアに分かれています。サポートデスクにはスタッフが常駐するほか、プロジェクターやホワイトボード、貸出PC等の設

備が整っているため、一人での勉強や、仲間とのグループ学習、プレゼンテーションの練習など、さまざまな学習スタイルに対応しています。

この新しい学びの空間を、国際社会学部ではインターンシップや海外研修など、実践科目の授業で活用する試みが始まっています。一方、人間科学部ではフレッシュマンセミナーを合同で実施し、学年全体での協働的な学習活動の場として活用しています。

こうした学部の授業に加えて、5月には日経テレコン、6月にはサンマーク出版や日本証券業協会から外部講師を招き、大学の学びを社会に出るための共通素養として高めていくためのキャリア教育にも取り組んでいます。また、グローバルコモンズでは、語学学習・留学・国際交流に関する情報を発信するとともに、



ラーニングコモンズ

留学生との交流会や英会話レッスンなどのイベントも実施しています。授業やイベントのない時間には自由に使えるこの新しい空間において、

各々が自分のスタイルで学ぶ様子が日々見られます。

そして、TILE SHEに欠かせない存在が、学生スタッフである「LC コンシェルジュ」です。現在、各学科から合計約10名の学生がLC コンシェルジュとして活動を行っています。TILE SHE内に設置する什器選びの段階から携わっている彼女たちは、「学生目線から英和生の学習や成長をサポートする」という使命のもと、定期的にミーティングを重ね、英和のキャンパスをより楽しく、活性化するために何ができるかという話を話し合い、さまざまな活動を行ってきました。

例えば、毎日昼休みに相談窓口を開設して、大学での学習方法や資格関連の相談を受けるアドバイザー的な活動もあれば、キャンパス各所で行われるイベント情報が一目で分かるカレンダーがあったら便利ではないかという発想から、各部署を訪ね、そこで得た情報を集約したカレンダーを作成し配布するといった学生支援的な活動もあります。TILE SHE主催のイベント時には、運営スタッフとして広報や司会等の表立った働きをする一方で、自身のPC



(上) NEW EDUCATION EXPO 2018で活動報告 (下) 専属の学生スタッフ LC コンシェルジュ

スキルをより向上させるため、教職員による研修を積極的に受けるなどして研鑽を積み重ねてきました。何よりもコンシェルジュたちが自発的に課題を見だし、互いに刺激を与え合いながら、明るく活動に取り組む様子は非常に頼もしく、その活動範囲はキャンパス外にも広がっています。昨年6月に実施された全国規模の教育イベントNEW EDUCATION EXPOでは、LC コンシェルジュ自身が活動報告者を務め、満席の出席者から好評を博しました。

教員とも職員とも異なる「学生だから見える」視点から英和キャンパスをどのように新たな学びの場へ発展させていくのか、英和の「誰かのために、まず私から始めましょう」という教えがどのように継承されていくのか、今後の彼女たちを温かく見守ってください。

小学部、  
ヴォーリス建築を訪ねる

小学部長 山本香織

毎

年9月に実施される6年修学旅行の行き先に琵琶湖方面が加わったことで、東洋英和と深い関係にあるウィリアム・メレル・ヴォーリス氏が愛した「近江」に実際に立ち、氏の息遣いに触れることを始めて4年目になります。もちろん他にも多くのところを訪ね、さまざまなテーマの学びをしています。ここではヴォーリス関係にしばつてのご報告です。

まず1日目。今年初めて豊郷町にある旧豊郷小学校を訪ねました。昭



ウサギとカメのブロンズ像

和12年にヴォーリス設計により建設された当初は、「白亜の殿堂」、「東洋一の小学校」といわれたそうです。階段の手すりにはブロンズのウサギとカメが競走しています。「いいなあ、こんなのが学校にあつたら…」と子どもたちに言わせる、ヴォーリス建築の優しさです。

「うさぎかめ 旧豊郷小 おもしろい 私ほうさぎ かめになりたい」(修学旅行中毎日6年生が作る「今日の一首」より)

その夜は、ヴォーリス研究の第一人者である芹野与幸氏のお話を伺いました。学校で事前学習もしていますが、6年生たちはさらにヴォーリスについて詳しくなります。そして引率の教員たちは、「ヴォーリスの語り部」芹野氏のお話により、すつ

かりヴォーリスに魅了されてしまいます。毎年お世話になっているうちに芹野氏のお話は、英和の子どもたちに合わせて楽しく進化しています。ヴォーリスと後に結ばれる一柳満喜子さんの出合いの場、六本木の岡浅子邸のこと、ハミルトン校長の軽井沢のコテージのことなど、たくさんのお話を聞かせていただきながらのお話です。

2日目は全員でヴォーリス学園を訪ねました。今年も、「こういう手づくりの修学旅行はいいですよ」とおっしゃりながら、学園関係者の方たちが温かく迎えてくださいました。学園内にあるハイド記念館を見学し、お話も伺いました。ヴォーリスは企業や学校の大建築で有名ですが、実は弱い立場の方、困難の中にある方のための施設の建築も数々手がけられていること、すべてを他者にささげ、亡くなられた時の財産は0円だったことなどのお話は、子どもたちの心に残りました。

午後は今年初めて取り入れたコース別プログラム。「織田信長歴史コース」、「ヴォーリス建築散策」、「ヴォーリス建築の中で写生」の中から、子どもたちが自分で選択しました。私は二つ目の別名「プラセリノ」に参加しました。近江八幡街歩きをしながらヴォーリス建築をガイドしてくださいるのはもちろん芹野氏です。



ヴォーリス建築を巡る近江八幡歩きグループ



特別に中に入れていただいたところもあり、住む人第一に考えられているヴォーリス設計の住宅の温かさに肌で触れることができました。

「ヴォーリスさん すてきな家を建てました 立ち入り禁止も 入れました」(「今日の一首」より)

三つ目の選択コースもまた素敵で、ヴォーリス設計の旧伊庭家住宅の中で、琵琶湖畔のヨシを使った「ヨシ筆」での写生と、「ヨシ笛」演奏の鑑賞をしたそうです。

ヴォーリス氏の情熱、優しさ、信仰が、子どもたちの心にしつかり刻まれた修学旅行でした。

東洋英和幼稚園  
**おおかみがね、  
 トマトをたべてるの**

**50** 年ほど前の東洋英和幼稚園の廊下には、いつでも好きな時に絵が描けるようにイーゼルが置いてあり、その事を楽しい記憶として残している卒業生も多いようです。現在、裏庭に常設されているイーゼルでは、お父様の着古しのワイシャツで作ったエプロンを身につけた子どもたちが、赤・青・黄色の絵の具を使って絵を描く事を楽しんでます。

ある日、初めて筆を扱う年少組の子どもに絵筆から絵の具が滴り落ちないように、瓶の縁に撫で付けるように伝えてみると、「ああ、パンにバターをぬるみたいにするんだね」とのひとこと！ 自らの経験と未知の出来事を繋げる思考回路を覗かせてもらったようで、わくわくしていました。

一枚の大きな画用紙に2、3人の子どもが思い思いに絵筆を走らせます。友たちの色と混ざり合うことで緑や紫、オレンジ、カーキ色、茶色…次々と新しい色が生まれていきます。それが嬉しくて、1枚の紙に向かって1ヶ月ほど経つと、自分の描いた



絵筆を動かすと、どんどん色が変わっていきます

色や形からイメージを広げ、表現するようになってきました。ある日「先生」と呼ばれたので行ってみると絵筆を動かしながらその絵の中の「お話」を聞かせてくれました。

緑色に塗られた所を指差して「ここに木（緑）があっただけだね」「おおかみ（茶色）になっちゃったの」と、赤い絵の具を重ねていきます。次は茶色のおおかみの端に赤い絵の具で小さな丸を描いて「そしてね、おおかみがね、トマト（赤）を食べてるの…」次々と絵は変化していきます。子どもの中のお話も進んでいきます。

その時だけの芸術です。思わずしゃがみこんで聞き入ってしまいました。年齢が大きくなると、出来上がりをイメージして形になることを喜びとするようになりますが、3歳の子どもたちは遊ぶことと同様に描くこと自体を楽しみ、その出来上がりの絵の状態ではなくその時のその色の変化を楽しみながら描き進めているのです。

その時その時を愛おしんで生活することを思い出させてもらいました。



ハチマキをつけて、さあ行こう

大学付属かえで幼稚園  
**関わりの中で育ち合う  
 鬼ごっこをする年中組の姿より**

**登** 園をし、朝の支度を終えた子どもたちは自分のやりたい遊びを見つけて、動き出します。その一つが鬼ごっこです。鬼ごっこの中でも2018年度の年中組は、ふやし鬼（※1）が好きでした。

鬼は黄色、鬼以外の人は青色のヘアバンド（※2）を頭につけます。鬼にタッチされた人は、青から黄色のヘアバンドにつけ替え、鬼となって追いかけます。単純なルールの遊びですが、子どもたちは何回戦も繰り返して楽しんでいます。本気で取り組んでいる子どもたちなので、その中で大喜びもすれば悔しい経験もします。

ある日の出来事です。青いヘアバンドの子どもが残り一人となりました。鬼の子どもたちは捕まえようと走ります。逃がっている子どもは細い道へ入りました。すると前から鬼がやって来ました。それを見ていたもうひとりの鬼は反対側から追いかけてきました。逃がっていた子どもは挟みうちをされタッチされてしまいました。捕まった子どもは、「挟みうちはずるい」と泣きました。捕まえた二人は「そんなことない」と主張します。保育者はその様子を感じながらそばに行き「そうね。捕まらないように一生懸命走っていたから悔しいわね。でも、挟みうちも良い考えだね」といきました。鬼の二人は「うん」とうなずきました。少し時間がかかりましたが、捕まえられた子どもは涙を拭いて鬼ごっこの輪へ戻って来ました。

どうしたら、捕まえられるか、その鬼からどうやって逃げるか、子どもたちは関わりながら、考え、気付き、試して、遊びを深めていきます。そして楽しさを共有しています。また、思い通りにならない時には一人で心を静めることや、友だちや保育者に気持ちを受け止められ背中を押されることで、気持ちの折り合いをつける大切な体験もしています。子どももさまざまな成長のプロセスが鬼ごっこの中でも見られます。

（※1）ふやし鬼…一人の鬼から始まり、徐々に鬼が増えていく鬼ごっこ。  
 （※2）ヘアバンド…ハチマキの代わりに年中組の子どもたちでも取り外しがしやすいよう2色のヘアバンドを使っています。

「敬神奉仕制定90年パンフレット」  
「学院説教集」を作成しました

**巻** 頭特集にもありますように、  
昨年は学院標語「敬神奉仕」  
が制定されて90年の年でした。こ  
れを記念して、学院内であらため  
て「敬神奉仕」の精神を理解し、  
共有するために、「敬神奉仕制定90  
年パンフレット」を作成しました。  
パンフレットには、「敬神奉仕」を  
めぐる歴史や、院長、学院宗教部  
長、各部代表者のメッセージを掲載し  
ています。

また、学院各部で日々大切に守  
られている礼拝の説教内容を全学  
院に伝えるために、学院の宗教教  
育委員会が中心となって、「学院  
説教集」の創刊号を作成しました。  
巻頭言で学院宗教部長の高橋貞二  
郎先生は、「各部の礼拝で語られ  
ている御言葉の解き明かしと勧め  
を心に留めて、敬神の思いをさら  
にあつくし、共に奉仕の業に励み  
たいと思います」と述べています。  
この説教集には、幼稚園から大学  
までの各部の礼拝で語られた、12  
人の先生によるメッセージが収録  
されています。

二つの印刷物は、どちらも11月  
6日の学院創立134周年記念日

に発行され、園児・児童・  
生徒・学生・院生、教職員  
に配布されました。学院に  
学ぶ一人ひとりが、そして  
ご家庭でも、「敬神奉仕」の  
意味と、東洋英和女学院で  
学ぶ意義を考える機会とな  
ることを願っています。



法人事務局と  
各インターネットハウスで閲覧が可能です

洗礼、信仰告白、堅信を受けられた保護者の皆さまへ  
お祝いに、しおりをプレゼントいたします  
宗教教育委員会

学院では在籍する園児・児童・生徒・学生・院生の受洗、  
信仰告白、堅信をお祝いするだけでなく、保護者の方々の  
受洗、信仰告白、堅信もお祝いしたいと思ってまいりました。  
そこで宗教教育委員会で検討を重ね、楓マークと学院  
標語「敬神奉仕」の文字が記されたしおりを作成し、お祝  
いのしるしとしてプレゼントすることになりました。

もし、保護者の皆さまで、洗礼、信仰告白、堅信を受け  
られました時は、お子様が所属される各部の教職員にご連  
絡ください。しおりを贈らせていただきます。詳しくは、  
各部の宗教教育委員（教職員）にお尋ねください。



学院人事

楓園 No.83 (2017.5.15 発行) の学院人事の欄に、山本 麻紀教諭  
が退職したと記載したことは誤りでした。

訃報

心より哀悼の意を表します

松澤 広和氏	大学非常勤講師	2017年12月6日
高倉 田鶴子氏	元中高部教諭等	2018年2月1日
白戸(小崎) 道子氏	元評議員	2018年5月1日
香西 泰氏	大学名誉教授、 元大学教授	2018年5月20日
鎌倉 ひるだ氏	元清楓寮副監、 元短期大学職員	2018年6月14日
竹端(丸山) くみ子氏	元大学付属 かえて幼稚園教諭	2018年6月27日
船本 弘毅氏	元院長、元大学学長、 元常務理事等	2018年8月20日



## 普段とは違う礼拝風景

各部の礼拝は、いつでも、どこでも、どのような時でも大切に守られています。それは、宿泊行事の宿泊先や特別行事などでも同じことです。今回は、普段とは違う礼拝風景をご紹介します。

中高部

### 中2 夏期学校 (野尻キャンプサイト)

夏休みに中学2年生全員を前期・後期に分けて、長野県の野尻キャンプサイトで3泊4日の野外教育を行います。仲間と共同生活を送りながら、「敬神奉仕」の精神を育みます。自然に親しみ、緑の中での礼拝で神様の恵みを実感する時を持ちます。上の写真はファイヤープレースでの朝拝、下の写真はメインホールでの開会礼拝の様子です。



大学

### 1年生オリエンテーション合宿 (千葉県南房総市富浦町)

毎年5月に1年生全員が参加して実施されるオリエンテーション合宿では、2日目の朝に自由参加の早天礼拝が行われます。場所は宿泊先ホテルに併設されたチャペルで、正面が全面ガラス張りとなっており、晴天の日には窓の向こうに朝陽に輝く太平洋を臨むことができます。朝のひと時、神様の前で心静かに今後の大学生活を思う豊かな時を持ちます。

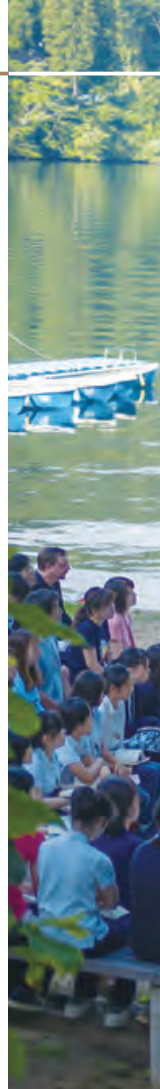




#### 小学部

### 夏期学校(軽井沢追分寮)

7月、授業終了と同時に1年生から順番に夏期学校です。1年ぶりに入る寮のチャペルは少し懐かしいです。すぐ左の写真は3年の開校礼拝。礼拝係さんの毛筆による主題聖句が掲げられています。



#### 大学付属かえて幼稚園

### お父さまと一緒に守る礼拝

お父さまと子どもたちが力を合わせてはたらく年長組“ワーク”の日は、始めにお父さまと一緒に礼拝を守ります。「隣人を自分のように愛しなさい」という御言葉のもと、はたらく(はたらくにする)ことを喜び、楽しい時を過ごします。



#### 東洋英和幼稚園

### 年長組キャンプ(軽井沢追分寮)

毎年7月初旬に年長組は軽井沢へキャンプに出かけます。追分寮に到着するとまず庭の木立の下に集って3日間の守りを願う礼拝の時を持ちます。朝はグループごとに緑の中で輪になり静かに祈りを捧げて一日が始まります。



# 教員紹介

— 研究テーマと授業とのつながりに  
ついて教えてください

学生時代の卒業研究から現在まで、対人関係のスキルに関する研究を続けています。本学でも、担当する授業のうちの1つで対人関係のスキルのトレーニングを行っています。親しい人と仲良くすることだけがスキルの役割ではありません。自分とは異なる価値観を持つ人とコミュニケーションをとれることが大切です。対人関係のスキルは大学生活の中で役立つだけではなく、大学を巣立ってからさまざまな背景を持った人々と関わっていくための有用なツールになります。

— 授業をする上で目指していることは何ですか？

心理学では、意見を主張する上で数量データを用いることが多いため、統計法の知識が不可欠です。しかし、心理学を専攻する学生の大部分は自分を文系だと認識しており、数量的な処理に苦手意識を感じています。私自身もそのような学生の一人でした。統計法を学生に教える上での自分の強みは何だろうかかと振り返ると、「どこがわからないのかわかる」という点だろうと思います。常に模索の毎日ですが、できるだけ学生に寄り添った授業ができるよう心がけています。

## ▶▶▶ 学生からのメッセージ



人間科学部人間科学科 3年  
右) 有川 舞さん  
左) 齊藤 詩織さん

渡部先生は、クールに見えて実はとても親しみやすい先生です。先生の授業では、難しい内容も分かりやすい具体例で説明して下さるので、理解を深めることができます。また、先生が担当されている対人コミュニケーション演習の授業は、ただ知識を吸収するだけではなく実践的に学べるグループワークがとても魅力的です。

## Asami Watanabe

他者と関わる力を支えるために



大学

人間科学部人間科学科

渡部 麻美 准教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。博士(心理学)。日本学術振興会特別研究員PD(東京学芸大学)を経て、2012年東洋英和女学院大学に着任。社会心理学および心理学統計法・研究法関連の授業を担当。趣味は映画鑑賞、自転車ロードレース観戦。出身地は福島県奥会津地方。



お気に入りの水芭蕉群生地(会津地方)

これまでの渡部ゼミの学生たちは、ふだん経験していることから卒業研究のテーマを設定し、データを収集して分析してきました。例えば、あるゼミ生はカフェでアルバイトをしていた経験から、カフェ店員の接客の仕方によって購入意欲に違いがあるのかというテーマで調査を行い、あまりに手厚すぎる接客が購入意欲を削ぐことを実証しました。ふだん何となく感じていたあやふやな内容を客観的な形で表現できることが、統計的な分析の面白さです。また、他者に自分の主張を伝えるための効果的なツールになるという点では、データを扱うことも対人関係のスキルと共通しています。そういった意義を伝えることができればと考えています。

— 仕事をしながら感じる東洋英和の特徴はありますか？

東洋英和に着任して7年目になりますが、本学には落ち着いて学ぶことのできる環境が整っていると思います。制度や設備の面だけでなく、学内に漂う雰囲気や腰を据えて知識を吸収することを促しているように感じます。おそらくそれは永く続いてきた学院の歴史あつてのことでしょう。恵まれた環境を最大限に活かし、学生と共に学んでいきたいと思っています。

―教員を目指したきっかけと、着任当初(1987年)の英和生の印象は？

当初研究職を希望していましたが、大学4年の教育実習で生徒たちのキラキラした目に出会ったら、生物の研究よりも生徒に賭けたいと思い、就職活動を教職一本にしました。

英和生はとにかく元気で物怖じせず人懐っこくて、可愛い印象。初めて担当した高1からの一番面白かったはずは、授業で教室に入ったらずとも誰かいないと、教室後ろのクロウゼットの中に45人全員がすし詰め状態で隠れていたことです(笑)。

―長い間進路指導主任をなさっておられました

3年目で高校生の担任になった頃、当時は、担任がそれぞれ自分の裁量で進路指導をする時代でした。教員が若手もベテランも同じように進路指導ができるような環境づくりができれば良いのではないかと思います。進路指導主任になった時、情報提供や情報共有のシステム作りを行いました。今は、進路指導委員会が主導し、さまざまな情報を共有して平等に指導ができるようになったのではないかと思います。

―先生といえば野尻の印象です

着任早々、訓練キャンプで生徒と一緒に水泳やボートを鍛えられました。女子校にしては過酷な行事だと

# Mihoko Makino

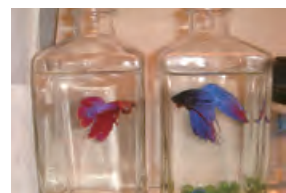
## ディアコニア精神を忘れずに

中学部

中2学年主任

牧野 美穂子 教諭

東邦大学大学院理学研究科生物学専攻修士課程修了。1987年東洋英和女学院中高校に着任。理科で主に生物を担当。2004年～2011年進路指導主任に就任。同時期2004年～2009年キャンプ委員長を務める。2012年より中1学年主任を経て現在中2学年主任。趣味は水泳、スライドショー作製、熱帯魚の飼育。



闘魚ベタのサンガ(左)とバルサ(右)

### ▶▶▶ 生徒からのメッセージ



高等部2年 渡邊 奈々花さん

牧野先生には授業や訓練キャンプで大変お世話になりました。生物の授業では、図を黒板に描きながら、魅力的な解説をしてくださいます。質問をすると、答えに至るプロセスを示してくださるので、興味が深まりました。訓練キャンプでは、キャンプマザーとして私たちが元気に過ごせるよう、食事面まで気遣ってくださり、心身共に支えてくださっています。

―ペットは熱帯魚と伺いました

学生時代はヒラメなども飼いましたが、今は闘魚と呼ばれる「ベタ」を5匹飼っています。雄同士一緒に飼うと、どちらかが死ぬまで闘ってしまうため、1匹ずつ別の瓶で飼います。ベタは空気呼吸ができる「ラビリンス器官」を持っているので、家で呼吸の実験などもしています。

―英和生へのメッセージ

中学部からのディアコニア活動を通して「他者のために、自分に何ができるのか」ということを本当に素直に吸収しているので、それが英和生の根本になっていると思います。困っている生徒がいると、必ず誰かが心配して先生に相談に来ます。これが本当に英和生の良いところだと思います。この精神を忘れず、他者の幸せのために働きかけることができる人になってもらいたいです。

―英和生へのメッセージ

中学部からのディアコニア活動を通して「他者のために、自分に何ができるのか」ということを本当に素直に吸収しているので、それが英和生の根本になっていると思います。困っている生徒がいると、必ず誰かが心配して先生に相談に来ます。これが本当に英和生の良いところだと思います。この精神を忘れず、他者の幸せのために働きかけることができる人になってもらいたいです。

## 阿川 佐和子氏講演会「いつも喜んでいなさい」



### 人生の支えとなった聖句をテーマに講演

2018年11月24日(土) 14時より、新マーガレット・クレイグ記念講堂にて、東洋英和楓の会主催の「阿川佐和子氏講演会」を開催し、約430名の楓の会会員の方々がご参加くださいました。

今回は、本学院中高部の卒業生で、東洋英和楓の会副会長でもあり、作家、エッセイストとして活躍中の阿川佐和子さんをお招きし、「いつも喜んでいなさい」と題した講演を行っていただきました。

講演の中で、阿川さんは、中高部で生徒として過ごした6年間の思い出、社会に出て報道に携わってからエピソード等をユーモア満載でお話くださると共に、生徒の時に出会った「いつも喜んでいなさい」の聖句が、これまでの阿川さんの人生の支えとなったことをお教えくださいました。

講演に引き続き、阿川さんと高等部3年生2名による鼎談が行われ、3人の自由闊達な受け答えに会場は大いに盛り上がりました。

また、参加者の皆様からも、「脈々と英和カラーが受け継がれているのは、英和の学び舎で過ごした時間が育んだものなのだと思います」等のたくさん感想を頂戴いたしました。

### Event Information

#### メサイアをうたう会



#### 『Early Summer Concert』 J.S.Bach の作品より

日時 2019年5月25日(土) 開場14時30分 開演15時  
 会場 中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂  
 料金 1,500円(全席自由)  
 曲目 ミサ曲 A-Dur カンタータ 64番・196番、ブランデンブルク協奏曲第4番  
 出演 田崎瑞博(指揮)、メサイアをうたう会(合唱)、金持亜実(S)、志田理早(A)、鏡貴之(T)、田代和久(B)、東京バハバハ・カンタータ・アンサンブル(オーケストラ)

●お問い合わせ:メサイアをうたう会事務局  
 Tel: 090-4018-3017

#### カナダへ「ありがとうの桜」に会いに



#### 『植樹から5年。花の咲く5月に再訪します』

東洋英和 桜プロジェクトが2014年6月に、ミス・カートメル所縁の地に感謝と友好を末永く覚える想いを託して植樹した桜の花は、毎年人々を楽しませています。その花を訪ね再びカナダとの絆を深める旅を計画しています。詳細は追って楓の会にご協力いただきお知らせいたします。

出発予定 2019年5月初旬(4泊6日又は5泊6日程度)  
 募集人員 25名限定  
 訪問予定 ミス・カートメル所縁の地 他検討中

●お問い合わせ:東洋英和 桜プロジェクト 松本幸恵  
 E-Mail: susie48@r09.itscom.net

貴重なご意見をいただきました

# 『2018年度東洋英和楓の会役員総会』

2018年6月23日(土)15時30分より、楓の会役員総会が中高部集会室にて開催されました。深井智朗院長の挨拶に引き続き、2018年度年間事業計画、2017年度会計報告および2018年度予算、役員を選任について事務局より報告・提案が行われ、審議の後すべてご承認いただきました。



## 東洋英和楓の会 役員一覧(敬称略) 2018年12月1日現在

<b>会長</b>	増淵 稔										
<b>顧問</b>	鮎戸 弘 中村メイコ 森田 一	石井摩耶子 西川 辰藏 山北 宣久	大木 英夫 橋本 五郎 横山 巖	大宮 博 嶋山友紀夫	金子 栄一 樋口 久子	金子 尚志 深町 正信	木村 太郎 藤井 裕久	近藤 勝彦 藤井 良昭	田村 哲夫 宮内 義彦	富田 浩安 宗國 旨英	中村 福助 村上陽一郎
<b>副会長</b>	深井 智朗 西田 哲也	吾妻 國年 望月 克哉	池田 明史 山本 香織	石澤 友康 渡辺 和子	大瀧 知子 (学院)	楠山眞里子	久保田まり	小久保康之	佐藤 智美	鈴木 法子	鈴木 齊
	大川 薫	小野田淳子	後藤 淑恵	菅井 徹郎	鈴木美由紀	山北 千世	渡邊 敬子	(同窓会)			
	安部 眞一	小泉 光人	後藤 浩	小林 宏	坂本 功	牧 健太郎	村松 康雄	(後援会)			
	阿川佐和子	小川 晴也	倉田 敬子	神津 十月	須永 達雄	鳥飼玖美子	松岡 裕子	山尾 庸久	山本 泰人	(卒業生)	
<b>監事</b>	黒川 信也		横山 巖								
<b>役員</b>	阿久澤紀雄 佐藤 順子 早川 史郎 湯浅 慶	石津 珠子 新富 英雄 林 喜久夫 (学院・旧教職員・大学名誉教授を含む)	伊勢紀美子 滝澤 三郎 原島 正	太田 良子 塚本 栄一 増田 弘	大伴 栄子 辻村江太郎 三橋 利光	角藤比呂志 露木美奈子 村上 哲朗	加藤 道夫 寺澤 東彦 望月 敏弘	倉林 義正 土橋 克子 森高ホサナ	黒岩 徹 中岡 望 柳沢 昌義	小坂 和子 中林 隆明 山岡 清二	小林 敏 浜辺 達男 山本 和代
	青木サエ子 片山 節子 立原 和枝 橋本美那子 宮下 信子	池田 廣子 神谷 邦子 田中佐佐子 長谷川充子 村山 節子	石川 和子 亀岡さやか 田中由美子 林 聖子 森 敦子	糸魚川規子 木村 祥子 田中百合子 平尾 良子 森 弥生	岩崎 君子 楠本 礼子 手島 弘美 福田 知子 安田 節子	上原 幸枝 久保田悦子 鳥羽 郁子 古澤不二子 山崎 英子	魚躬 聡美 小谷美智子 中尾 有子 細川 恒子 (同窓会)	大月 陽子 清水 有香 中台 恭江 堀口由美子	岡田 苑子 杉浦 智恵 中村千賀子 松井 恭子	岡田 弓子 須藤 倫子 新村麻里奈 松本 幸恵	奥村 友子 ソボトカ佐和子 信國 隆裕 三方奈々子
	赤川 公男 菅野 庄一 花岡 健司	浅見 新一 木内 二郎 藤波 勝久	安部 猛彦 小林 寿成 山口 章	安藤 繁 小森 秀人 若井 勝彦	石川 栄 佐藤 明弘 (後援会)	伊藤 裕基 鈴木 明弘	上原 正雄 瀬下 明良	小田 博 高橋 展俊	香月 保 坪井 昌造	金森 三浩 遠山 正道	神谷 直彌 櫛本 健夫
	大貫 純一	(小学部父の会)									
	石井和佳子 保母 敏子	石原 潤 水野 真紀	今井 哲哉 村岡 恵理	大野 昭彦 和田 美範	酒匂 義倫 渡辺 一寿	富沢 明男 (卒業生)	中村 芝翫	西川 均	西川 祐子	長谷部信一	藤田 大輔
	高松 敬子	トゥルーフ真智子	藤川ひと美	(母の会)							
	市橋 佳子	大軒 京子	近藤 秋子	塚本 明子	西村 澄子	牧野 安子	(学院関係団体)				
	五十嵐素一 柳田 幸男	出光 昭 渡辺 洋一	総田 清隆 (学院関係者)	加藤 哲康	柴生田敦夫	鈴木 三彌	高際伊都子	長山 信夫	張田 眞	松田 博青	宮崎 落彦

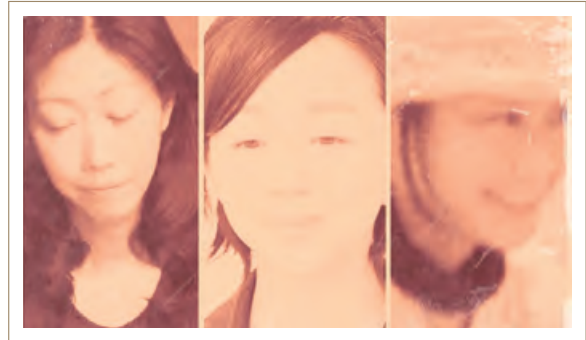
## ザ・メイプルズ 第3回 定期演奏会



### 『春によせて』～パイプオルガンの調べと共に～

日時 2019年2月23日(土) 開場13時30分 開演14時 終演予定15時30分  
 会場 中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂  
 料金 2,000円(全席自由)  
 出演 江上孝則(指揮)、MASAMI(奥村昌見、ソプラノ・合唱指導、中高部卒業生)、  
 岡崎清紗(ピアノ)、佐藤初音(パイプオルガン、中高部卒業生)、ザ・メイプルズ(合唱)  
 ●お問い合わせ: ザ・メイプルズ 定期演奏会 チケット係  
 E-Mail: toyoeiwa\_the\_maples@yahoo.co.jp

## 3人の高等部卒業生によるコンサート



### 『～歌と言葉と物語を綴るコンサート～「みちみちみちくさ」』

日時 2019年4月20日(土)  
 ①開場13時30分 開演14時 ②開場17時30分 開演18時  
 会場 南青山 骨董通り沿い・ZIMAGINE (ジマジン)  
 (港区南青山6-2-13 ファイン青山B1 Tel: 03-6679-5833)  
 料金 予約3,000円/当日3,200円+別途ドリンク代  
 出演 ひらたよーこ(筒井陽子1984年卒)・白神直子  
 (1988年卒)・押川理佐(末吉理佐1989年卒) 他  
 ●お問い合わせ: 白神直子チケット事務局  
 E-Mail: info@shirakaminaako.com



## 「英語が得意」だけではなく 村岡花子と短歌創作

### 東

洋英和といえば「英語の英和」といわれたりしますが、その

代表格が翻訳家として活躍した卒業生の村岡花子でしょう。英語による

授業を受け、寄宿舎生活でも宣教師たちに囲まれ、しっかりと勉強しないと落第・退学が待っているという厳しい教育方針のもと、花子は必死に英語を身につけていきました。

しかし、のちに花子が名翻訳家として名を馳せたのは、英語が得意だったからでしょうか。

実は、英語だけでなく日本語の修

練も必要だと考えた花子は、級友の柳原白蓮の導きで短歌や日本文学を学ぶため、16歳の時に歌人の佐佐木信綱に師事します。

女流歌人が活躍し始めた時代、多くの才女たちのきらめくような言葉に触れ短歌創作に励むうちに、花子は短歌の世界と英文学の世界を自在に行き来する感覚を得ていきます。

そして、花子に翻訳の才能を見いだした信綱の紹介で、花子は英和の先輩である歌人・翻訳家の片山廣子に会います。花子と廣子に共通していたのは、卓越した



村岡花子文庫展示コーナー(本部・大学院棟)では花子と短歌創作についての企画展をしています。

いたのは、卓越した英語力だけにとどまらない豊かな日本語表現への飽くなき探究心でした。英語偏重教育の弊害も聞かれる昨今、花子の短歌制作のエピソードから学ぶこともありそうです。

- 史料室 Tel : 03-3583-3166 / Fax : 03-3583-3329 <http://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>
- 「史料室だより」No.91 も村岡花子と短歌の特集です。右のURL からご覧いただけます。 <http://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>

### 同窓会より

## 同窓会クリスマス礼拝

12月1日(土) 新マーガレット・クレイグ記念講堂において恒例の「同窓会クリスマス礼拝」が執り行われました。佐藤初音さんの奉奏・院長深井智朗先生による「天のクリスマス」の説教・献金・同窓生がひとつになり讃美するハレルヤ…厳かな中にもクリスマスを祝う晴れやかさを感じる礼拝でした。催事は井上とも子さんのチェロに伴奏は田添茜さん、静かな重みのある素晴らしい演奏を堪能しました。その後

集会室に場所を移し、お茶の会を楽しみました。ミニバザーもあり同窓生が和やかに語り合い、最後に田中百合子さんの伴奏で校歌を歌い温かい気持ちで家路につきました。次回同窓生の皆様とお目にかかるのは6月1日(土)同窓会総会です。どうぞこの日をお覚えいただき母校に足をお運びください。



### 後援会より

## 2018年度後援会総会・役員懇談会のご報告

7月6日(金) 後援会総会が開催され新役員・新任役員と2017年収支決算および2018年の収支予算が後援会員皆様へ報告されました。当日は約300名の後援会員の皆様にご参加いただき、続いて行われた学院各部説明会・懇談会とも盛況のうちに終了いたしました。10月12日(金)には後援会役員懇談会が開催され、新役員も含めた後援会役員と学院との間で懇談会・懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中、学院との意見交換がなされました。



2018年度後援会常任役員



後援会役員懇談会